

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 品川リフラクトリーズ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号	
本票作成	部署名：技術部				
主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業		
事業の概要	県内に岡山製造部、日生製造部、玉島製造部、帝窯製造部の4工場を有する。 2023年4月時点、4製造部合計で従業員数は484名、耐火物生産能力は11,350t/月。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		備前市東片上88	
	②	日生工場		備前市日生町寒河180	
	③	玉島工場		倉敷市玉島乙島新湊8252-10	
	④	帝窯工場		備前市久々井1801	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 <input checked="" type="checkbox"/> 工場等の数 4 所 <input checked="" type="checkbox"/> 車両台数 (②該当の場合) 台				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和4)年度排出量	目標年度(令和6年度)
	37,107 t CO ₂	37,692 t CO ₂	35,289 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和4)年度排出量
	①	岡山工場	32,757 t CO ₂
	②	日生工場	2,751 t CO ₂
	③	玉島工場	1,208 t CO ₂
	④	帝窯工場	976 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	令和2年度	～	令和6年度	(5箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(4)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	14.3 %	4.9 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産量(t) R1 : CO ₂ 37,107t 生産量 96,317t 原単位 0.385	原単位当たり排出量		
		基準年度	(4)年度	目標年度
		0.385 t CO ₂ /(t)	0.330 t CO ₂ /(t)	0.366 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和4年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

弊社は省エネ法の特定事業者でもあるため、全社で平均年率1%ずつエネルギー使用量削減を目標に省エネ活動に取り組んでいる。

令和4年度はエネルギー原単位の少ない帝窯工場が加わったため、目標を大きく達成することができた。管理特定工場である岡山工場の製造品種構成が変わり、エネルギー原単位の大きい(≒CO₂排出量の多い)品種の割合が大きくなった。

その結果、削減目標(1%減)に対し、2.2%増と目標が未達となった。

【推進体制】

ISO14001のEMS組織に基づく省エネルギー推進体制
(各工場、部署で使用エネルギー合理化の取り組みを推進)
生産集約を全社規模で推進

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	(22年度実施分) 省エネ型油圧プレス導入(大型プレス) トップランナー機器への更新(空調機、電力用変圧器)
日生工場	作業場・事務所照明のLED化 スプレータワーの更新
玉島工場	電動フォークリフトの導入 (今後実施予定分) コンプレッサの電力低減にむけた取組 焼成炉に断熱材設置による省エネ

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--